

森の“聞き書き甲子園”

FOXFIRE IN JAPAN

「森の名手・名人」の言葉を後世に伝え残そう



研修を終えて。全体写真

平成 1 4 年 1 1 月

林野庁・文部科学省

1. 「森の“聞き書き甲子園” FOXFIRE IN JAPAN 」の概要

(1) 「森の“聞き書き甲子園” FOXFIRE IN JAPAN 」の実施目的

日本は「もりのくに」と呼ばれるように、森林が国土面積の7割を占めており、古くから日本人は森林の中で暮らし、森林を大切に利用し、森林と日常のかかわりの中から生活様式・文化・伝統を育み、受け継いできました。さらに、今日、地球温暖化を防止するための二酸化炭素の吸収源としての森林の役割にも期待が寄せられています。

しかし、都市化が進み多くの若者が日常生活における森林との関わりを失い、山村の過疎化・高齢化が進み林業活動が低迷する今日、山村で受け継がれてきた森林と関わる知恵・生活技術・生業等も失われようとしています。

私たちは、日本だけでなく地球環境にとっても大切な森林を守り育てていくとともに、地域の生活様式・文化・伝統・技能等を次の世代に引き継いでいくために、今まさに忘れられようとしている山の暮らしや埋もれかけている生業や技等を語り継いでいかなければなりません。

こうしたことから、次代を担う高校生に、『森の名手・名人100人(森林に関わる分野において優れた技や知見をもってその業を究め生活者の模範となっている達人)』にじかに接していただき、若者としてのみずみずしい感性と感動とともに、名手・名人の言葉を「聞き書き」し、これを後世に伝え残すとともに、社会一般における関心を高めていきたいと考えています。

備考：FOXFIREとは、1966年アメリカ合衆国ジョージア州の高校生が、伝統的な技術・知恵を伝承しながら生きている人たちのところに行き、そこでの見聞をレポートとしてまとめたことに由来します。なお、FOXFIREとは枯れ木に生える苔が発する燐光のことをいいます。

(2) 「森の“聞き書き甲子園” FOXFIRE IN JAPAN 」の全体の予定

8月26日～28日	・・・聞き書き研修
9月～10月	・・・地元における聞き書き実施計画づくり
11月～12月	・・・森の“聞き書き甲子園”の開催 (森の名手・名人を訪問)
3月	・・・公開フォーラム

「森の“聞き書き甲子園”」の流れ

「聞き書き」とは、取材・インタビューによって人の話を聞き、文字に残して記録する手法のことです。今回は、埋もれた森の技に光を当てることを目的に、森の名手・名人からの「聞き書き」を行います。

聞き書き研修（8月26日～28日）



- ・ 森や森の「技」の重要性を見直す
- ・ 森の「技」を学ぶ
- ・ 聞き書きのコツを学ぶ
- ・ 聞き書きの練習をする

聞き書きのための勉強・計画づくり（9月～10月）



- ・ 調査地域について勉強する
- ・ 訪れる名手の技について勉強する
- ・ 知りたいことを探す
- ・ 質問項目を考え、調査票をつくる

名手・名人を訪問した「聞き書き」（11月～12月）



- ・ 名手・名人にアポを入れる
- ・ 調査票にのっとりインタビューをして、メモをとる（聞き書き）
- ・ 実際の活動の写真を撮る

レポートづくり（1月）

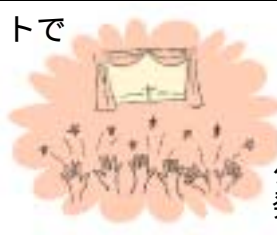


- ・ 聞き書きしたことをまとめる
ex. どんなことを中心に訴えるか
どんな構成にするか
どんな写真を使うか…

成果の公表（3月以降）



インターネットで
公表・共有



公開フォーラムで
発表

2. 聞き書き研修の概要

(1) 聞き書き研修の概要

名称 : 「森の聞き書き甲子園 - FOXFIRE IN JAPAN - 」聞き書き研修

主催 : 林野庁・文部科学省

日程 : 2002年8月26日(月)～28日(水)

場所 : 26日(月)・・・日本科学未来館 みらいCANホール(7階)他
27日(火)・28日(水)・・・日本青年館 国際ホール(3階)他

参加者 : 参加高校生100名、世話役教職員47名

(2) 聞き書き研修実施のねらい

この研修は、高校生が、森の名手・名人への「聞き書き」に取り組むにあたり必要な基本的な知識の習得、聞き書きの方法の体験・理解をねらいとしたもので、次の3点に重点を置いた研修プログラムを実施しました。

【研修のねらい】

「聞き書き」のテーマ・対象の関心を高め、今回のプロジェクトのイメージを持つ。

「聞き書き」をする意義を理解し、「聞き書き」を体得する。

「聞き書き」に取り組む上での初歩的な疑問点を解消し、実際に聞き書きを行うための心構えを養う。

(3) 研修プログラムの様子

8月26日(月)

時間	内容
12:00	受付開始
13:15	開校式 ・主催者あいさつ (林野庁/文部科学省) ・日本科学未来館館長・ 毛利衛氏より歓迎の挨拶
13:35	オリエンテーション
14:05	館内見学の説明
14:10	館内見学
15:15	映画鑑賞 「奥会津の木地師」 (55分)
16:10	休憩
16:20	映画鑑賞 「那珂川の漁労」 (30分)
16:50	休憩
17:15	ウェルカムパーティ(立食形式)
19:00	バスにて日本青年館へ
20:00	日本青年館到着・チェックイン
20:30	今日の研修をふまえたディス カッション
21:30	解散



8月27日(火)

時間	内容
8:00	朝食
8:45	顔写真撮影
9:30	集合 昨夜のディスカッション結果配布
9:45	映画鑑賞 「日光山地の鹿狩りと狩猟文化」(30分)
10:15	休憩
10:30	佐野真一氏の基調講演(90分)
12:00	昼食
13:30	阿川佐和子氏の基調講演(90分)
15:00	休憩
15:10	塩野米松氏による聞き書き講義(80分)
16:30	休憩
16:50	聞き書き実習の説明
17:00	聞き書きの体験
18:20	夕食
19:20	聞き書きレポートの作成
22:30	レポート提出締め切り・終了



8月28日(水)

時間	内容
7:45	朝食
8:25	集合・荷物整理
9:00	まとめかた講義とレポート講評 グループディスカッションと質疑応答
11:00	休憩
11:05	感想文の作成・休憩
11:30	閉校式
12:00	解散



高校生たちの研修を終えた感想(抜粋)

参加する前よりも、人との接し方というのをどのようにすればいいか分かった。

全国から集まってくるだけあって、面白い人とたくさん知り合えた。先生でも、高校生でも「すごい」と思える人がたくさんいた。

相手を尊敬すること、これを一番に考えたい。

「おもしろそう」だけで参加してしまったけど、新しい世界を知れたかなと思う。

相手に心を開いてもらって、いい気持ちで聞き書きにいどみたい。

一番の収穫はやっぱり全国各地にいろんな友達が出来たこと!!最初に考えていたよりも全然楽しくて、3日間があっという間だった。

夜遅くまで、皆で一生懸命力を合わせて、一つのものを作り上げて行って、楽しかった(疲れたけど・・・)。

今回だけでなく、また、みんな(100人)で集まる機会があったら、絶対にいいと思う。

まだ知らない名手・名人との出会いをととても楽しみにしています。

予想通りむずかしかった。グループの人に助けてもらってなんとか仕上げる事が出来た。この先、一人でやっていくのは不安だけど、この3日間で学んだことをフルに出して完成させてみたい。

会話(聞くことも)がうまくなると人間関係もうまくいきそう。

テープ起こしは、語り手の方言をそのまま書くのに苦労した。